



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

第158号

発行:2019年6月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会

## 「サン・アリス」

～ 重度認知症患者デイ・ケア ～

横浜ほうゆう病院 事務部長 前沢 恒一



「サン・アリス」

そう聞いて、何のことかぱっと思い浮かぶ方は、かなりの横浜ほうゆう病院ツウです。実はこれ、当院で行っている事業のひとつであるデイケアの名称なのです。このニュースレターの中であまり触れてきませんでしたので、ここで紹介させていただきます。

当デイケアは正式には、「重度認知症患者デイ・ケア」（以下「認知症デイ」とします。）という**医療保険が適用**される精神科専門療法として2002年2月に開所しました。この医療保険適用が大きな特徴のひとつです。認知症デイは、物忘れをはじめとする認知症の症状のある方に対して、6時間以上のケア及びリハビリを行う送迎付きの通所施設です。一般的に高齢者向けの通所型サービスといえば、介護保険適用の「デイケア」や「デイサービス」を指すことが多く、認知症デイ自体があまり知られていないのが実情です。ですがこの認知症デイ、結構すごい実力の持ち主なのです。

「認知症デイ」。まず医療保険適用なので、介護保険は関係ないのです。つまり、介護保険をまだ受けていなくても認知症デイの利用は可能。また介護保険ではひと月に利用できるサービス量が定められているため、もうこれ以上介護保険サービスを受けることが難しい方も認知症デイなら関係ありません。しかも認知症デイでは上限がありませんので、週6日（月～土）通所することも可能です。また介護保険サービスと違い入浴は行っておらず（これが良い意味の特徴かどうかは別として）、その分、サービス

提供時間中は、利用者さんの健康管理を行いながら体操・創作・学習・合唱・ゲーム・季節行事といった心身機能回復・維持のための活動を実施しています。このような活動は医師や看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護スタッフなどの多職種が関わることで、認知症のさまざまなケアを提供しています。ケアと個々あるいは集団の中での関わりを通じて精神症状や行動障害の緩和を図り、住み慣れた家庭での生活を支えていきたいと考えています。

さて、当院の「認知症デイ」。少しでも興味を持っていただけたでしょうか。「是非利用したい」・「まずは見学したい」。ご連絡お待ちしております。但し、実際にサービス開始前にひとつ手続きが必要です。それは「受診」です。認知症デイは医療保険による精神科専門療法です。対象となる方が認知症である診断が必要となる為、当院精神科を受診していただきます。また送迎可能範囲は、旭区・瀬谷区全域、泉区一部地域となっていますので、まずはお気軽にご相談ください。

「サン・アリス」当院認知症デイの名称です。この名称、実は結構深い意味があるのです。「サン」はもちろん太陽。太陽のように明るく輝いてほしい。そして「アリス」。詳細は不明なのですが、認知症から生還した（治るタイプの認知症だったと思います）ある患者が、「まるで不思議の国のアリスのようだった」と語ったエピソードを耳にしました。2つの言葉を合わせてできたのが、「サン・アリス」なのです。

何を隠そう、私、名付け親なのです。

# 認知症ケア研修・看護フェスティバル開催

5月11日（土）、横浜ほうゆう病院において認知症ケア研修と看護フェスティバルを開催しました。認知症ケア研修では、日野院長より『認知症の基礎知識』、村山老人看護専門看護師より『体験！ユマニチュード（※）』の講演があり、多くの方に参加いただきました。

会終了後には、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定された【看護の日】のイベントとして毎年行っている看護フェスティバルを催しました。看護フェスティバルでは、身長・体重・血圧測定やオムツ、介護食品のご案内・ロコモ体操（※）・認知症の介護相談などを行い、認知症ケアに携わること家族・地域の方々と学びを深めたり、交流を持ちました。

※ユマニチュードとは認知症の人のケアをするためのフランスのイヴ・ジネスト氏によって開発された方法で、《見る》《話しかける》《触れる》《立つ》という4つの方法が柱となっており、全部で150以上もの技術があります。

※ロコモ体操とは、①バランス能力の低下 ②骨や関節の病気 ③筋力の低下 などによって、歩行や日常生活に支障がある状態を予防・改善するために考案された運動のことです。



## ほうゆう保育園 園児の訪問

～ 介護老人保健施設 阿久和鳳荘 ～

5月23日（木）『ほうゆう保育園』の子どもたち（4、5歳児）が、介護老人保健施設 阿久和鳳荘を訪問しました。いつも保育園で楽しんでいるリズム遊びで、うさぎやアヒルになりきって動いたり、「キリンだゾウ」のダンスを披露しました。

最後は、「さんぽ」の歌に合わせて、フロアを歩きまわり、握手をして「また来るね！」と手を振って、早くも次回を楽しみにしているようでした。

